文化財保存修復学科　文化財保存修復コース

課題① 身近な文化財に関する調査計画書作成	
課題内容	テーマ：『**あなたの暮らしの周りにある文化財について、その価値と保存を考えてみる**』 身近にある文化財を1つ選び、それを「何のために、どうやって調べるか」を考えて、調査計画書（A4サイズ・1枚）にまとめてください。この段階で調査を終えている必要はありません。 **■進め方の例** **① 対象を選ぶ** 有名なものや指定文化財である必要はありません。地域の神社・お寺の建物や石仏、道祖神、石碑、古い蔵や町並み、祭りの道具、掛軸や古文書なども対象になります。実際に見に行けるものや、話を聞ける人がいるものを選ぶと進めやすいと思います。 **② 気になったことを書き出す** いつ頃、誰が作ったのか。何でできているか。傷みや汚れはあるか。誰がどのように守ってきたのか。 **③ 調べ方を考える** 現地で観察・撮影する、所有者や地域の方に話を聞く、図書館や市町村の文化財担当窓口・Webで資料を探す、などの方法があります。 **④ 計画書にまとめる** 雛形の各欄に、①選んだ理由、②知りたいこと（問い）、③調べ方、④スケジュール、⑤保存について今考えていることを書いてください。 **■注意** 見学や撮影の際は、所有者・管理者の許可を得てください。対象には手を触れないようにしてください。 **■提出** 調査計画書の雛形は本サイトで配信します。PDFとWordファイルのいずれかを選んでご使用ください。※Wordを開く際はデスクトップアプリで立ち上げてください。ブラウザから開くと様式が異なってしまう場合がございます。 ▶提出 Googleフォーム URL：https://forms.gle/Nr9jyPJL2TiUP2Vb8 ▶提出形式：PDFで提出　※Wordファイルの場合はPDFに書き出して提出してください。 **■スクーリング当日の発表** 3分程度の口頭発表を行います。900字程度の文章にまとめてきてください。計画書の内容に加え、実際に対象を見て気づいたことを1つ以上含めてください。
課題のねらい、ポイント	身近にある文化財を自分で選び、問いを立て、調べ方を組み立てる経験をすることがこの課題のねらいです。高校までの課題とは異なり、決まった正解や手順はありません。その過程を通して、これから文化財保存修復を学んでいくために必要となる思考力と計画力を身につけます。 また、調査計画を文章にまとめて人に伝える力（コミュニケーション力）と、スクーリングでの教員からのコメントやアドバイスを理解し、調査計画を発展させる力（意欲）を養います。 評価では、情報の量や正確さよりも、自分なりの問いと調べ方が考えられているかを重視します。
アドミッションポリシーとの関連事項	社会に興味を持ち、仲間とともに切磋琢磨して成長できる人 美術や歴史、そして文化の継承に興味・関心のある人 探究心をもって新しいことに挑戦できる人
提出の仕方、期限	2月4日（木）終日までにGoogleフォームURLから提出 Googleフォーム URL：https://forms.gle/Nr9jyPJL2TiUP2Vb8

課題② 身近な文化財に関する調査ポスター作成	
課題内容	2月のスクーリングでの「調査計画書」の発表後、学科教員からのコメントやアドバイスをもとに、新学期開始までに各自で調査結果を以下の指定形式でまとめる。 【ポスター形式（545mm×788mm、模造紙半分の大きさ）】 作成方法、ポスター例など詳細はスクーリング時に説明するので、調査計画書のほか、 各自筆記用具を忘れずに持参すること。
課題のねらい、 ポイント	文化財が自分の身近にあることを認識し、可能な限りの手段で調査する。 また、文化財の歴史的な部分だけでなく、それがつくられた技術にも着目し、価値や保存について自ら考え、文章としてまとめることで、人に伝えるための力を身につけることを目的とする。前期に開講されている「保存修復調査演習1」の事前学習として取り組む。
アドミッションポリシーとの関連事項	社会に興味を持ち、仲間とともに切磋琢磨して成長できる人 美術や歴史、そして文化の継承に興味・関心のある人 探究心をもって新しいことに挑戦できる人
提出の仕方、期限	4月に予定されている学科ガイダンスで指示予定

歴史遺産学科　歴史遺産コース

課題①　ふるさとーまちあるきマップ作成	
課題内容	皆さんが暮らしているところや生まれたところにある身近な「歴史遺産」に関する「ふるさとーまちあるきマップ」をまとめてください（WordやPowerPointなどを使って作成し、PDF版をメールで送付。横長にすること。）。単に現状を細部にわたり紹介するようなマップでなく、その歴史遺産の保存や活用に関して生じている問題点やギャップを見つけ出し、どうしたら改善できるかを考えてみてください。 実際に現場に足を運び、現状を記録し、資料等を集めてください。作成する際には名称のほか、写真、イラスト、簡単な解説を付けるなど、見やすさを工夫してください。 「ふるさと－まちあるきマップ」では20件以上の「歴史遺産」をプロットしましょう。ここでいう「歴史遺産」とは、指定された「文化財」だけをいうのではなく、あなたが歴史を感じる、住民の方々が親しみをもっている過去のモノやコトを指します。
課題のねらい、ポイント	本課題のねらいは実際に地域を歩いて、普段意識していない日常のなかにある多種多様な「歴史遺産」を再発見することです。点在しているもののなかに共通する歴史的背景やストーリー、場所と場所、モノとモノ、場所とモノがつながるストーリーがないかを考えながら歩くと良いでしょう。さらに歴史遺産コースの「ビジュアル・アウトプット」、他者に何をどのように分かりやすく伝えるか？その柔軟な思考と工夫が試されます。これは試験ではなく、自らに課す訓練だと思ってください。試験は一時ですが、この課題は日常の反復による訓練として理解して下さい。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人 高等学校までの学習および経験により培われた基本的な知識を持ち、主体的に学修できる人 社会に興味を持ち、仲間とともに切磋琢磨して成長できる人
提出の仕方、期限	1/29（金）までに大学歴史遺産コース準備室へメールに添付して提出 rekishi-isan@aga.tuad.ac.jp

■自主トレ■ 小論文	
課題内容	下記に示した4つテーマ（専攻分野）の中から1つを選択し、A4用紙2枚程度（字数制限なし）で小論文を作成してください（縦書き・横書き、手書き・PC使用は自由）。必ず文献、参考図書（2冊以上）を記入。本文中で、他者の文章、意見を引用するときは必ず「」を付け、自他の区別が明確になるように記述してください。なお、小論文の表紙として、選択した分野と番号、受験番号、氏名を記載したものを付けてください。 ①【考古学】 自分の住む地域あるいは周辺にある「遺跡・史跡」を一つ選び、その内容と保存・活用状況を調べ、これを地域のためにもっと活かすにはどうしたらよいか、自分の考えを述べなさい。 ②【歴史学】自分の住む地域に関わる歴史上の人物を調べ、その人物をより多くの人に知ってもらうことで現代に活かす方法がないか、自分の考えを述べなさい。 ③【民俗・人類学】これからの日本の農山漁村、いわゆる第一次産業主体の生き方はどのようにあればいいのでしょうか。具体的事例を取り上げ、自分の考えを述べなさい。 ④【建築史学】 自分の住む地域あるいは周辺にある「歴史的建築物」を一つ選び、その内容と保存・活用状況を調べ、これを地域のためにもっと活かすにはどうしたらよいか、自分の考えを述べなさい。
課題のねらい、ポイント	上記の問題はいずれも簡単なことではありません。性急に答えを求めるのではなく、問題点や課題を理解することが重要です。自分の考えを周囲の人に話したり、意見を聞いたりすることでアイデアが膨らみます。また新たなニュースソースを得るきっかけともなります。この課題は中学・高校の教育で学んできた社会科分野の基礎学力と知的探究心が試されます。
アドミッションポリシーとの関連事項	高等学校までの学習および経験により培われた基本的な知識を持ち、主体的に学修できる人 社会に興味を持ち、仲間とともに切磋琢磨して成長できる人
提出の仕方、期限	1/29（金）までに大学歴史遺産コース準備室へメールに添付して提出 rekishi-isan@aga.tuad.ac.jp

美術科　日本画コース

課題① 風景着彩（室内または室外）	
課題内容	木炭紙大の着彩（水彩、画用紙）・1枚 スクーリングの際に、どのような意図を持って取り組んだか口頭で発表できるよう200字程度の文章にまとめてきてください。
課題のねらい、ポイント	独自の視点と感性で場所・構図を選び、写真を使わずにその場で粘り強く描くこと。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人
提出の仕方、期限	2月スクーリング時に持参してください。

課題② 細密着彩	
課題内容	F6程度の着彩（水彩、画用紙）・1枚 モチーフとの出会いを大切にし、自分が気持ちを込められる物を選ぶこと。 スクーリングの際に、どのような意図を持って取り組んだか口頭で発表できるよう200字程度の文章にまとめてきてください。
課題のねらい、ポイント	写真を使わずに、対象物をよく観察し、限界まで画面に挑んで描ききること。 モチーフの実物大か、少し大きく描くことが望ましい。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人
提出の仕方、期限	2月スクーリング時に持参してください。

■自主トレ①　一冊まるごと写生	
課題内容	F6サイズのスケッチブック一冊。 描画材、題材（モチーフ）は自由
課題のねらい、ポイント	写真を使わずに、題材（モチーフ）への独自の視点、粘り強い観察力を培う。 写生を通して、本質に迫る姿勢を養う。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人
提出の仕方、期限	2月スクーリング時に持参してください。

■自主トレ②　推薦図書とレポート作成	
課題内容	日本画・日本美術に関する推薦図書から一冊を選び、レポート（感想や考えたこと）を書いてください。手書きではなく、パソコンを用いて執筆してください。A4縦書きで、文章にはタイトルを付け、表紙にタイトル・氏名・読んだ本について必ず記入。印刷したものを持参してください。 推薦図書は、本サイトにて配信します。
課題のねらい、ポイント	日本画コースは、絵を描くことと、絵について考えることを両輪にしながら、「画力と思考を積み重ね、今日の日本画を探求する」をコンセプトにカリキュラムが設計されています。具体的には、美術史の講義や演習ごとの研究会を通して、自分の考えを深めていくのです。スクーリングでは、日本画・日本美術についての本を1冊以上読み、自分の考えを記すことで、1年生から始まる学修の導入とします。「自主トレ」ではありますが、本から美術の広い世界を知り、ぜひ積極的に取り組んでください。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人 高等学校までの学習および経験により培われた基本的な知識を持ち、主体的に学修できる人 社会に興味を持ち、仲間とともに切磋琢磨して成長できる人
提出の仕方、期限	2月スクーリング時に持参してください。

美術科　洋画コース

課題① 油彩　30号～50号	
課題内容	テーマは自由。ただし、観察をもとにじっくり制作してください。
課題のねらい、ポイント	自分が描きたいものを吟味し構図や空間、形態や色彩などの絵画的要素を踏まえて制作することを求めます。写真・イメージに頼りすぎずに実在の対象をしっかり観察し、時間をかけて描いていきましょう。 ※テーマや制作意図などを400字程度で記入してください。（本サイトに掲載する課題コメントシートを、作品ごとに添付して提出してください。）
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人 社会に興味を持ち、仲間とともに切磋琢磨して成長できる人
提出の仕方、期限	2月スクーリング時に持参してください。

■自主トレ　スケッチブックF6　1冊(20枚綴りのもの)	
課題内容	モチーフ１～２個を台の上に置いて描いてください。（モチーフの下に白い紙などを敷くと陰影の把握がしやすい。） ※自画像や手、果物や器物などをモチーフとして描くことも可。描画材は鉛筆を使用してください。
課題のねらい、ポイント	徹底的に観察して描くこと。鉛筆は3H～6Bまでの幅を使って、モチーフの明暗や色味の違い、正確な構造を意識して描くこと。質感の違いに応じて鉛筆の塗り方や重ね方を工夫すること。可能な人は20枚全てチャレンジしてみてください。
アドミッションポリシーとの関連事項	高等学校までの学習および経験により培われた基本的な知識を持ち、主体的に学修できる人
提出の仕方、期限	2月スクーリング時に持参してください。

美術科グラフィックアーツコース

課題①	鉛筆デッサン&人物クロッキー
課題内容	**鉛筆デッサン** モチーフ１～２個を台にセットし、10枚の静物デッサンを描いてください。 モチーフ１個の場合は、石、布、野菜など質の違うものをそれぞれ選んでください。 モチーフ２個の場合は、「硬いものと柔らかいもの」「透明なものと不透明なもの」「人工物と自然物」など対比するテーマを決めてモチーフを選択してください。 ・モチーフ構成：配置自由 ・用紙、サイズ：F8スケッチブック（縦横自由） ・制作時間：それぞれ1日1時間以上×５日間以上＝5時間以上取り組んでください。 **人物クロッキー** 人物の全身クロッキーを30枚描いてください。（着衣か否かは問いません） ・実際の人物、あるいはインターネットのクロッキーサイトを利用しても構いません。 ※お勧めの無料サイト「ポーズマニアックス」 ・足の接地角度に注意すると地面に自然に立って見えるようになります。 ・アナログで描く場合はA4程度で紙は自由、描画材自由。画面いっぱいに大きく描いてください。 ・デジタルで描く場合キャンバスサイズは問いません。画面いっぱいに大きく描いてください。デジタルのままタブレットなどで画面を見せてもらいます。（スマホは小さ過ぎるので不可） ・一つのポーズに５分以内で描くこと。途中になってしまっても構いません。慣れると時間内に描ける様になります。徐々に短い時間にして、最終的に３分で描けるようになりましょう。
課題のねらい、ポイント	画力の基礎であるデッサン力と人体のクロッキー力を培います。注意深く観察し、物・人物が自然に見えるように描くことが大切です。 基礎画力は、大学に入って自身の表現を探求するうえで、モチーフの選択からアナログやデジタルなどの的確な表現方法まで、可能性を広く持って追求する重要な力になります。
アドミッションポリシーとの関連事項	プリントやグラフィックに興味を持ち、熱意を持ってものづくりと向き合える人
提出の仕方、期限	2月スクーリング時に持参してください。

課題②	表現したいものを描く
課題内容	今後制作してみたいものをテーマに自由に描いてください。素材や技法、支持体は自由。 サイズは四つ切程度（デジタルも可。その場合はA3程度でプリントアウトする事）1点。
課題のねらい、ポイント	ただ描きたいものを描くだけでなく何を伝えたいか構図や画面の要素も考え、細部までしっかりと気を配り完成させてください。
アドミッションポリシーとの関連事項	版画の学びを通して、多くの人に発信・共有し、表現力を社会に活かしたい人
提出の仕方、期限	2月スクーリング時に持参してください。

美術科　彫刻・キャラクター造形コース

課題① 鉛筆デッサン	
課題内容	・両手を一枚の画面に構成し、鉛筆を使ってデッサンする。 ・四つ切サイズ 1枚　（画用紙の種類は問いません） ＊2月スクーリング時に講評会を行います。
課題のねらい、ポイント	デッサンを通して基礎的な「観察力」「構成力」「描写力」を培います。学びのねらいを明確にするために、以下を意識して描くと良いでしょう。 ・絵画空間としての構成（入れ方、配置）。 ・手のポーズによる表情と両手の関係性（空間表現）。 ・光源を意識した、豊かなグレースケール（明暗の幅とコントラスト）。 ・有機的な構造（成り立ちと位置関係）、動勢（動き）。 ・質感表現（筆致、タッチとそのストロークのリズム）。 ・存在感、立体感（回り込みや際の陰影）。 ＊全てを完璧にできる必要はありません。わからなくても、上記のポイントを意識して自分なりに解釈し取り組むことで、基礎力は確実に伸びます。頑張ってください。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人 社会に興味を持ち、仲間とともに切磋琢磨して成長できる人
提出の仕方、期限	2月スクーリング時に持参してください。（1人ずつ講評会を行います。）

課題②　自主制作のイメージドローイング	
課題内容	入学後に自主制作で取り組みたい作品のイメージを自由に描いてください。 ・描画材や技法は自由とします。（デジタルの場合は必ず紙に印刷すること。） ・四つ切サイズ 1枚　（画用紙の種類は問いません） ＊2月スクーリング時に講評会を行います。
課題のねらい、ポイント	ただ描きたいものを描くだけでなく、テーマを明確にし、細部までしっかりと気を配り完成させること。 ・立体的に描く必要は必ずしもありません。 ・自由テーマに対し、主体的な解釈、能動的で実験的な取り組みを期待します。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人
提出の仕方、期限	2月スクーリング時に持参してください。（1人ずつ講評会を行います。）

美術科　総合美術コース

課題① じっくり・しっかり観察して描く	
課題内容	鏡に映った自分を見つめ、じっくり観察して自画像を描きましょう。目鼻口の形、まつ毛、髪の毛のくせ、ホクロなど自分が観察できたものを全て描き出していきましょう。 ＊サイズはB３サイズ、鉛筆で描くこと
課題のねらい、ポイント	観察して気づいたことを、しつこく描きだすことを一番の目的としています。観察する姿勢は、これからの制作やプロジェクトを行う上での基盤となります。形態のずれ、明暗の表現などにとらわれずに描き出してみましょう。 高校で美術を選択していなかった方は、描くことを体験する機会にもなります。しっかりと観察して描いてみましょう。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人
提出の仕方、期限	２月のスクーリング時に持参してください。

課題② 私のまちの“いいところ”ガイドの作成	
課題内容	自分が住んでいるまち（市町村や身近な地域範囲）の“いいところ”を探してください。WEBや書籍の情報だけではなく、自分の脚で調査することが大事です。とにかくまちを歩いて“いいところ”を見つけましょう。また、まちの人にインタビューをしてもいいかもしれません。 それをもとに、私のまちの “いいところ”ガイドを作成してください。有名な名所紹介ではなく、独自の視点で制作してください。 A３サイズ用紙を２つ折りにしてパンフレット形式で表現してください。画材、技法は自由です。
課題のねらい、ポイント	＊自分の脚を使って、まちを調査することもねらいのひとつです。これまでに紹介されている観光スポットだけが“いいところ”ではありません。まちを改めて調査することで今まで気がつかなかったまちの良さを発見してください。 ＊調査内容をもとに、独自にテーマを決めて自分なりの視点でガイドを作成してください。自分が伝えたいことをわかりやすく、きれいに表現することも大事です。 ＊「自分のまちは何もない」と決めつけるのではなく、自分で面白がる姿勢が大事です。
アドミッションポリシーとの関連事項	社会に興味を持ち、仲間とともに切磋琢磨して成長できる人
提出の仕方、期限	４月に入学後講評します。

■自主トレ①■いろいろな生涯学習施設を見に行こう	
課題内容	全国には美術館、博物館、公民館等がたくさんあります。これらの施設に足を運び、作品鑑賞やイベント参加などを積極的に行ってください。そしてそこで感じたこと、良かったと思うところ、こうしたらもっと良くなると思うところなど、さまざまな気づきをノートにつけてください。
課題のねらい、ポイント	様々な生涯学習施設をたくさん体験することが目的です。
アドミッションポリシーとの関連事項	社会に興味を持ち、仲間とともに切磋琢磨して成長できる人
提出の仕方、期限	4月入学後に持参してください。 ※この施設巡り感想ノートは入学後もずっと続けてほしいと思います。

■自主トレ②■さまざまなモチーフをじっくり・しっかり観察して描く	
課題内容	自分を描くこと以外にも様々なものをじっくり・しっかり観察して描いてみましょう。 ＊モチーフの例：ポーズをした自分の手、お気に入りの物（静物）、友人など・・・ ＊サイズはB３サイズ、画材は鉛筆
課題のねらい、ポイント	観察して気づいたことをしつこく描きだすことを一番の目的としています。また、何度も描くことによって、モチーフのとらえ方、描き方を模索することも重視します。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人
提出の仕方、期限	2月のスクーリング時に持参してください。

工芸デザイン学科

課題① 鉛筆デッサン（平面上モチーフ）	
課題内容	「形の正確さと素材感」をテーマに、柄の入った布(柄、大きさは自由)と工業製品単体(ビン、缶、箱などモチーフ、数は自由)と植物単体(野菜、花、果物など)を組み合わせて平面上に構成し鉛筆で描きなさい。また作品には氏名と制作時間を右下に小さく記入してください。 ※四つ切り画用紙 2 点以上提出
課題のねらい、ポイント	観察力を身につける課題です。見える表面を観察するだけでなく、その物の本質を見極め、基本的な構造、比率、バランス、素材感などを捉えることが必要です。また、そのモチーフの特徴が伝わるよう、工夫して平面に構成することも大切です。これらのことが他者にしっかり伝わるように描いてください。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人
提出の仕方、期限	2月スクーリング時に持参してください。

課題② 鉛筆デッサン（空間に構成）	
課題内容	「想像力と構成」をテーマに、ロープまたは紐(素材、長さ、本数は自由)と工業製品単体の同じものを複数(ビン、ガラス製 品、缶、箱など)組み合わせて空間に構成し鉛筆で描きなさい。 また作品にはタイトルと氏名を右下に小さく記入してください。 ※四つ切り画用紙 2 点以上提出
課題のねらい、ポイント	構成力を身につける課題です。 空間に物が浮遊している様子を描きます。実際に空中には配置ができないので画面の中に想像して構成します。モチーフの基本的な構造、比率、バランス、素材感などを捉えることはもちろん、同じものが空間に配置されていることが表現されなければなりません。作品のテーマ、モチーフの選び方、構成の仕方などをしっかりと考え抜いた上で進めてください。これらのことが他者にしっかり伝わるように描いてください。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人
提出の仕方、期限	2月スクーリング時に持参してください。

課題③ 鉛筆デッサン（三面図）	
課題内容	「展開図」をテーマに、家の中にある製品を一つ選び、鉛筆デッサンをしてください。またその立体を三面図でもデッサン表現にて説明してください。四つ切り画用紙の右上に製品のデッサン、左下に正面図、左上に平面図、右下に側面図も鉛筆デッサンにて表してください。（定規の使用は可）そして氏名を画面の右下に小さく記入してください。 ※四つ切り画用紙 2 点以上提出
課題のねらい、ポイント	製図の力を身につける課題です。製品の選択は自由ですが、三面図で表すことのできる製品を選定してください。立体を具現化できる能力（入試で学んだ三面図を使い他者に伝えられる力）が身についたかをチェックします。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人
提出の仕方、期限	2月スクーリング時に持参してください。

文芸学科

課題① 旅のしおり（小冊子）を作成する	
課題内容	以下のルールを守ったうえで、「参加メンバー6人で3泊4日の旅行」の日程を考え、その旅を具体的に想像できるような、魅力的なしおり（小冊子）をひとりで作成して提出してください。何をしに行く旅なのか、コンセプトを決めること。手書きでもよい。 なお、特定のエリアだけをまわる旅は「コンセプトのある旅」とは認めない（京都奈良をめぐるだけの旅など）。エリアはあってもいいが、コンセプト（ここでは目的）をしっかり決めること。 旅程だけでなく簡潔に、魅力的に、見どころを文章で表現してくださいね。 ※グループ課題ではなく自分ひとりで考えて書く課題です。 ①予算は一人10万以内（60万） ②利用する交通機関は発着の時間も明記すること。飛行機などの早割、鉄道などの学割などが使用できる。 ③車の運転免許を持つ者が一人いるとする。ただし、車は誰も保有していないものとする。 ④宿泊する宿や食事をする場所などは具体的な店舗を選び、宿泊代や食事代も明記すること。参照したWEBはURL、書籍や雑誌はタイトルと発行年を必ず明記すること。 ⑤宿泊先の連泊は認めない。 ⑥旅程と、何にいくらかかるのか、個々人の自由時間などもわかるようにしてください。お土産代などは含まないが、菓子や飲料などを含む食事代はだいたいの金額でよいので予算に入れること。 ⑦東京ディズニーランド、USJは含めてはならない。 ⑧団体で行動する時間を大事にできる旅程にすること（つまりずっと個人行動という旅程は認めない）。集合時間、集合場所、緊急連絡先など、参加メンバーが安心できるしおりにしましょう。 ⑨どういう参加メンバーなのかは、あなた次第です。特に決めなくても構いませんし、決めてもいいです。 ⑩すでに雑誌やサイトで紹介されているようなありきたりな旅は、企画力ゼロとみなします。 ・縦書き、横書きは問いません。 ・両面を使用してもいいです。複数枚に渡るしおりはホチキスなどでとじ、紙がばらけないように冊子にしてください。個人の裁量に任せます。カラーでもモノクロでも構いません。写真やイラストは引用元を明記するように。 ・表紙には旅のコンセプトがわかるようなタイトルを入れること。例）＜「食品サンプル」を作り上げる旅＞、＜劇場をまわる旅＞、＜4日で楽器を作る旅＞、＜メイクの達人になる旅＞など。 ・しおりの最初のページには旅のコンセプトの説明を入れてください。
課題のねらい、ポイント	旅程の構成力、想像力、企画力、そして魅力的なしおりが書けるかというプレゼンテーション能力、文章力をチェックします。とにかく楽しい旅を計画してくれればOK！ 十分な下調べができるかどうか、また調べた雑誌やWEBをしっかりと明記できるかというところもポイントです。無断引用は許しません。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人 高等学校までの学習および経験により培われた基本的な知識を持ち、主体的に学修できる人
提出の仕方、期限	2月のスクーリングに持参してください。授業時に教室に展示し参加学生が閲覧します。

課題② 書籍リストを作成する	
課題内容	●これは2月のスクーリング以降に取り組む課題です● 大学に入学して以降、卒業するまでに読みたい本を、40冊挙げなさい。 著者名、書名、出版社を明記すること。 ただし、同一著者の著作は2冊までエントリー可能とする。 2月のスクーリング時に配布する専用シートを使用して、シートの指示にしたがって記入欄を埋めてください。記入欄には「執筆者名（自分）」を明記すること。作成方法はシートに直接手書きで記入してください。
課題のねらい、ポイント	自分の興味と関心の幅を自覚することができるか。また、長期的な計画を立てられるかどうか。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人 高等学校までの学習および経験により培われた基本的な知識を持ち、主体的に学修できる人
提出の仕方、期限	４月のガイダンスに持参してください。

課題③ 具体的なエピソードを書く	
課題内容	●これは2月のスクーリング以降に取り組む課題です● 高校在学中にあった「おもしろかったこと」や笑ったことを、それを経験していない人にも伝わるように具体的に3つ書いてください。長さは問わない。パソコンで作成したファイル、または手書きどちらでも構わないが、ハンドアウト（手書き）またはプリントアウトした状態で提出すること。

課題のねらい、ポイント	自分の興味と関心の幅を自覚することができるか。自分以外の人間と共有するために伝えるように具体的なエピソードを書く文章力があるか。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人 高等学校までの学習および経験により培われた基本的な知識を持ち、主体的に学修できる人
提出の仕方、期限	４月のガイダンスに持参してください。

課題④　タイピングに習熟する	
課題内容	●これは2月のスクーリング以降に取り組む課題です● スクーリングで配布した文章を、PCでまったく同じ文章をタイピングして提出する。 入学後、PCでの入力、タイピングは必須になる。両手の指を駆使して手で書くよりもはやく入力できるようにしておくことが望ましい。 タイピングができないと大変な大学生活になることが予想されますので、見たものをそのままタイピングする、というレッスンを個人的にもしておきましょう。
課題のねらい、ポイント	思考やアイデアを邪魔しない、あるいはストップしない程度のスピードでPCでのタイピングができるようになるように。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人 高等学校までの学習および経験により培われた基本的な知識を持ち、主体的に学修できる人
提出の仕方、期限	４月のガイダンスに持参してください。

プロダクトデザイン学科

課題① 観察スケッチ	
課題内容	身近にあるプロダクトを観察しスケッチを行う。 教科書として「気になるモノを描いて楽しむ観察スケッチ　檜垣万里子（著）」を購入し、スキルを学びながら課題に取り組む。 モチーフは自由に設定のうえ、提出日まで１０種類以上のプロダクトをスケッチし、クリアフォルダーに１ページ１枚ずつストックする。 画材：鉛筆、サインペン、色鉛筆やカラーマーカー、絵具など着彩方法は自由 A4サイズのコピー用紙（横位置で使用）、A4サイズのクリアフォルダー ※詳細は、「プロダクト_入学前自主トレーニング資料2027」を参照してください。
課題のねらい、ポイント	・身近なプロダクトをじっくり観察することにより、デザインの意図を読み取り、消費者としてではなくデザイナーとしてのモノの見方や関わり方を身に付ける。 ・プロダクトデザイナーとして必要な観察力や、表現力を身に付ける必要性を学ぶ。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人
提出の仕方、期限	４月の１年生学科ガイダンス日に持参してください（プロダクトデザイン学科準備室に提出）

課題② 課題図書のレポート	
課題内容	課題図書の中から興味のある1冊を購入し、読書後にレポートを作成する。 ・レポートは指定の書式に従って記述する。 ※詳細は、「プロダクト_入学前自主トレーニング資料2027」を参照してください。
課題のねらい、ポイント	デザインに関する予備知識や関心、考え方を学び、入学後の学習をスムーズに行う。 書籍の内容を構造的に理解し、レポートにまとめることで論理的な思考力を身に付ける。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人
提出の仕方、期限	2027/2/1（月）までに、以下URLからMicrosoft Formsにて提出。 **https://forms.cloud.microsoft/r/KmtK24Kdnp**

建築・環境デザイン学科

課題①-1プレゼンテーション／身近にある魅力的な建物と周辺環境を調べよう	
課題内容	自分の住むまちや近辺にある建物とその周りの環境について、実際に足を運んで調べてください。調べたことについて、絵や写真を添え、A２サイズ（420×594）のケント紙１枚（片面ヨコ置き）にまとめてください。スクーリング当日には、他の人にも分かりやすくプレゼンテーション（発表５分程度、質疑応答含む）をしてください。
課題のねらい、ポイント	興味のある建築や建築デザインについて探究し、知識を深めるための課題です。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人
提出の仕方、期限	プレゼンテーションの前に事前チェックを行うため、1月29日（金）17:00までに、調べたことをまとめたA2用紙の全体を写真に撮り、建築・環境デザイン学科のメールアドレス（env.info@aga.tuad.ac.jp）に写真データを添付してメールで送ってください。メールのタイトルを「入学準備PG課題」とし、本文には必ず「自分の名前」、「調べた建築」を記載してください。 A2用紙の原本は2月に行われるスクーリングの際に持参し、当日プレゼンテーションをしてもらいます。

課題①-2プレゼンテーション／建築家について調べよう	
課題内容	建築家について調べてください。できれば、課題①-1で調べた建物の建築家が望ましいですが、違う建築家でも構いません。調べたことについて、絵や写真を添え、A２サイズ（420×594）のケント紙１枚（片面ヨコ置き）にまとめてください。スクーリング当日には、他の人にも分かりやすくプレゼンテーション（発表５分程度、質疑応答含む）をしてください。
課題のねらい、ポイント	興味のある建築や建築デザインについて探究し、知識を深めるための課題です。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人
提出の仕方、期限	プレゼンテーションの前に事前チェックを行うため、1月29日（金）17:00までに、調べたことをまとめたA2用紙の全体を写真に撮り、建築・環境デザイン学科のメールアドレス（env.info@aga.tuad.ac.jp）に写真データを添付してメールで送ってください。メールのタイトルを「入学準備PG課題」とし、本文には必ず「自分の名前」、「調べた建築家」を記載してください。 A2用紙の原本は2月に行われるスクーリングの際に持参し、当日プレゼンテーションをしてもらいます。

課題② プレゼンテーション／課題①について興味を広げ追求しよう	
課題内容	２月スクーリングでのアドバイスを受け、そこからさらに興味を広げ、関連する建築や建築家について調べてください。課題①と同様に、A２サイズ（420×594）のケント紙2枚（片面ヨコ置き）にまとめてください。
課題のねらい、ポイント	興味のある建築や建築デザインについて探究し、知識を深めるための課題です。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人
提出の仕方、期限	入学後の学科ガイダンス時に提出してください。

課題③ 読書感想文	
課題内容	課題図書から3冊以上を選んで読み、それぞれA4レポート用紙1枚に感想をまとめてください。 ＜課題図書＞ ・『日本のカタチ2050』竹内昌義・馬場正尊・マエキタミヤコ・山崎亮/晶文社 ・『風景資本論』廣瀬俊介/朗文堂 ・『研究者が本気で建てたゼロエネルギー住宅 断熱、太陽光・太陽熱、薪・ペレット、蓄電』三浦秀一/農産漁村文化協会 ・『RePUBLIC 公共空間のリノベーション』馬場正尊+OpenA/学芸出版社 ・『銭湯から広げるまちづくり: 小杉湯に学ぶ、場と人のつなぎ方』加藤優一/学芸出版社 ・『建築家への道』吉田研介・内藤廣・北山恒・新井清一・小嶋一浩・妹島和世・鈴木了二・坂茂/TOTO出版 ・『火と水と木と詩－私はなぜ建築家になったか』吉村順三/新潮社 ・『住宅論（SD選書049）』篠原一男/鹿島出版会 ・『住まいの基本を考える』堀部安嗣/新潮社 ・『団地再生計画／みかんぐみのリノベーションカタログ』みかんぐみ/ LIXIL出版 ・『パークナイズ　公園化する都市』馬場正尊・飯石藍・小川理玖・菊地純平 (著), 木下まりこ・中島彩・和久正義/学芸出版社 ・『図解 エコハウス』竹内昌義・森みわ/エクスナレッジ ・『あたらしい 家づくりの教科書』前真之・岩前篤・松尾和也・今泉太爾・森みわ・竹内昌義・伊礼智・水上修一・三浦祐成/新建新聞社 ・『これからのリノベーション』伊藤菜衣子・竹内昌義・松尾和也/新建新聞社 ・『原発と建築家』竹内昌義・松隈洋・後藤政志・佐藤栄佐久・池田一昭・清水精太・林昌宏 ・三浦秀一・飯田哲也/学芸出版社
課題のねらい、ポイント	建築や環境デザインについての知識を養うための課題です。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人
提出の仕方、期限	入学後の学科ガイダンス時に提出してください。

グラフィックデザイン学科

課題① 自己紹介シート制作	
課題内容	来年4月からグラフィックデザイン学科で一緒に活動をする同級生に向けた『自己紹介シート』を制作してください。 A3（タテ）の用紙1枚を自由に使って、自分の好きなことや趣味などをまとめ、自分自身を表現しましょう。
課題のねらい、 ポイント	入学後に同級生のことを知り、交流を深めるきっかけづくりのための課題です。 みなさんの『自己紹介シート』が提出された後には、学科のみんなで見ることができるようにします。 どうぞ楽しみながら作ってください。力作を期待しています。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人 高等学校までの学習および経験により培われた基本的な知識を持ち、主体的に学修できる人 社会に興味を持ち、仲間とともに切磋琢磨して成長できる人
提出の仕方、期限	入学後、4月上旬実施予定の初回の学科演習にて提出予定。

課題② GD ルーキードリル	
課題内容	GD ルーキードリル に記載された課題に取り組んでください。
課題のねらい、 ポイント	この課題「Rookie Drill」はグラフィックデザイン学科に入学内定したばかりの新人（ルーキー）のみなさんに、本学で 4 年間学ぶ準備を整えてもらうためのものです。 みなさんはもう普通の高校生ではありません。デザインを学ぶと決めたデザイナーの卵です。それぞれの事情や経験値に合わせて、自分の頭で考え、自分の責任で計画を立てて取り組んでください。デザイン分野への新しい興味、大学での勉強法や時間の使い方など、みなさん自身の新しい気づきや足りない点が見えてくるはずです。 今日からあなたの大学での学びが始まるのです。 ※社会状況によっては課題変更の連絡をする可能性がありますので、大学からの連絡をこまめに確認するようにしてください。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人 高等学校までの学習および経験により培われた基本的な知識を持ち、主体的に学修できる人 社会に興味を持ち、仲間とともに切磋琢磨して成長できる人
提出の仕方、期限	入学後、4月上旬実施予定の初回の学科演習にて提出予定。

映像学科

課題① 課題映画・展覧会のレポート

課題内容

みなさんに観てもらいたい映画、行ってもらいたい展覧会のリストを提示しますので、映画3本、展覧会3つを選んで鑑賞し、一つのレポートにまとめて下さい。なお文字数は一つの鑑賞に関して1000字程度とします。

●鑑賞のポイント

【映画】
・作品の意図は何ですか？
・最も印象に残ったのは？
・表現の工夫点は？

【展覧会】
・常設展か企画展を鑑賞
・何をテーマにした展示でしたか？
・どんな工夫がありましたか？

【映画リスト】

作品名	監督名
2001年宇宙の旅	スタンリー・キューブリック
ユージュアル・サスペクツ	ブライアン・シンガー
アメリ	ジャン=ピエール・ジュネ
ジョーカー	トッド・フィリップス
ONI ～神々山のおなり	堤大介
太陽の塔	関根光才
気狂いピエロ	ジャン=リュック・ゴダール
雨月物語	溝口健二
E.T.	スティーブン・スピルバーグ
ジョーズ	スティーブン・スピルバーグ
東京物語	小津安二郎
友だちのうちはどこ？	アッバス・キアロスタミ
セバスチャン・サルガド - 地球へのラブレター	ヴィム・ヴェンダース
サクリファイス	アンドレィ・タルコフスキー
ブレードランナー	リドリー・スコット
羅生門	黒澤明
七人の侍	黒澤明
JUNK HEAD	堀貴秀
THE FIRST SLAM DUNK	井上雄彦
コックと泥棒その妻と愛人	ピーター・グリーナウェイ

【展覧会リスト】
近隣の博物館・美術館・資料館など文化施設
または下記施設を推奨

弘前れんが倉庫美術館	青森県
青森県立美術館	青森県
十和田現代美術館	青森県
寺山修司記念館	青森県
秋田県立美術館	秋田県
光原社	岩手県
土門拳記念館	山形県
せんだいメディアテーク	宮城県
気仙沼アーク美術館	宮城県
諸橋近代美術館	福島県
金沢21世紀美術館	石川県

	東京都写真美術館 / 東京都 国立西洋美術館 / 東京都 東京都現代美術館 / 東京都 日本民藝館 / 東京都 インターメディアテク / 東京都 NTTインターコミュニケーション・センター / 東京都 森美術館 / 東京都 国立新美術館 / 東京都 21_21 DESIGN SIGHT / 東京都 ※課題の詳細はこちらのページ(https://tuad-eizo-class.com/start/)で確認してください。
課題のねらい、ポイント	これから大学で学ぶ映像やデザイン、アートの基礎知識をつけることを目的とします。批評的な視点を持って映画、展覧会を鑑賞して下さい。鑑賞した後の感動・想い・疑問点を言葉にして伝え、リテラシーを身につけることがこの課題のねらいです。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人 高等学校までの学習および経験により培われた基本的な知識を持ち、主体的に学修できる人
提出の仕方、期限	下記ページに提出フォームの情報が記載されています。 https://tuad-eizo-class.com/start/ 提出期限：**2027年3月29日 23:59まで**

課題②自己紹介ビデオ	
課題内容	4月から映像学科で共に学ぶ同級生に向けた「自己紹介ビデオ」を1 分で制作して下さい。 条件は以下の通りです。 1. 好きな映像、興味があること、趣味、特技、将来の夢など自由にテーマを設定して下さい。(複数可) 2. 実写、アニメ、CG、写真(素材に使用する)など手法は自由です。 3. 音声を入れて下さい。(自分の声、環境音、音楽など自由) 4. 撮影カメラ、編集はスマートフォンでも可。 5. 再生時間は1分の映像とします。 ※課題の詳細はこちらのページ(https://tuad-eizo-class.com/start/)で確認してください。 ※提出してもらったビデオは映像学科内で共有し、全員のビデオが見られるようにします。
課題のねらい、ポイント	映像は優れたコミュニケーションツールです。 そして最も身近なプレゼンテーションの手法が自己紹介です。 自分のことを映像で伝えられるか、相手に興味を持ってもらえるかがポイントです。 一年の授業で映像を学ぶ前段階の自主トレーニングと捉えて下さい。
アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人 高等学校までの学習および経験により培われた基本的な知識を持ち、主体的に学修できる人
提出の仕方、期限	下記ページに提出フォームの情報が記載されています。 https://tuad-eizo-class.com/start/ 提出期限：**2027年3月29日 23:59まで**

企画構想コース

課題①	指定図書の読解と問い
課題内容	共通図書を読み、社会や地域、暮らしの見方を広げる課題に取り組みます。１月末の読書カード、２月のスクーリング、３月末の考察を通して、自分の関わり方について考える課題です。 【必読書】安宅和人 著／英治出版 『「風の谷」という希望――残すに値する未来をつくる』 ISBN 9784862763501 １月末までに本書を読み、以下を第１回フォームへ入力してください。字数は目安です。 １．氏名・学校名 ２．書籍の中で、最も注目した箇所 書籍のなかで自身がもっとも注目した箇所の章名・ページを記入してください。電子書籍は見出しなどで示してください。 ３．著者が問い直そうとしていること【150～250字】 注目した箇所で、著者は何を問題とし、どのような未来や可能性を示していると理解しましたか。 ４．自分の見方の変化【200～300字】 読む前と後で、社会や地域、暮らしの見方はどう変わりましたか。変わらなかった場合は、その理由を書いてください。 ５．身近なこととのつながり【200～300字】 本の内容と、自分が住む地域や日常の経験とのつながりを一つ挙げ、本を通してどのように見えたかを書いてください。 ６．スクーリングで教員に相談したい問い【100～200字】 疑問が残ったこと、納得できなかったことなど、教員に聞きたいことを一つ挙げ、その理由を書いてください。
課題のねらい 取り組む際の ポイント	・著者の考えと自分の考えを分け、自分の言葉で書いてください。引用する場合は引用箇所とページを明示してください。 ・著者への賛同や、すべてを理解することが目的ではありません。疑問や異なる意見も、その理由とともに記してください。 ・まとまった分量の本です。計画的に読み進め、入手や読書、入力に困難がある場合は、期限前に大学へ相談してください。 ・提出した回答は、記載したメールアドレスにもお送りします。修正があれば、期限内に再提出してください。
アドミッション ポリシーとの 関連事項	社会や地域の課題への関心、多様な視点の受け入れ、論理的かつ柔軟な思考と主体的に学ぶ姿勢につながる課題です。
提出方法と期限	提出期限：2027年１月31日 提出先：企画構想学科企画構想コース入学課題第１回フォーム https://forms.cloud.microsoft/r/ENbSANG5Qy

企画構想コース

課題②	これからの社会への関わり方の提示
課題内容	読書と２月のスクーリングを振り返り、これからの社会に自分がどのように関わっていきたいかを考え、以下を第２回フォームへ入力してください。字数は目安です。 １．氏名・学校名 ２．対話を通して考え直したこと【150～250字】 教員からの問いやフィードバックを受け、考えが広がったこと、変わったことは何ですか。変わらなかった場合も理由を書いてください。スクーリングに参加できなかった場合は、記載不要です。 ３．自分が関わってみたいこと【200～300字】 今後、あなた自身がどのような暮らしや社会をつくることに関心がありますか。誰の、どのような状況に関わりたいか、書籍内容と結びつけて説明してください。 ４．自分との接点【150～250字】 なぜ、そのことに関わりたいのでしょうか。自分の経験、関心、得意なこと、気になってきたことなどから説明してください。 ５．最初に確かめたいことと、小さな一歩【150～250字】 まだ分からないことは何ですか。それを確かめるために、誰に話を聞く、何を調べる、どこを観察するなど、入学後１か月を目安にできそうな行動を一つ書いてください。すでに試した場合は、分かったことも記入してください。 ６．大学で学びたいこと【100～200字】 その一歩を進めるために、大学でどのような知識や力を身につけたいですか。
課題のねらい 取り組む際の ポイント	・現時点での考えで構いません。職業や進路を決める必要はありません。関心が定まらない場合は、迷っていることと確かめたいことを書いてください。 ・大きな構想や立派な決意よりも、読書と対話から何を考え、自分にできる一歩をどう具体化したかを大切にします。 ・教員の助言をそのまま採用する必要はありません。異なる考えを持つ場合も理由を説明してください。
アドミッション ポリシーとの 関連事項	社会や地域の課題への関心、多様な視点の受け入れ、論理的かつ柔軟な思考と主体的に学ぶ姿勢につながる課題です。
提出方法と期限	提出期限：2027年3月31日 提出先：企画構想学科企画構想コース入学課題第２回フォーム https://forms.cloud.microsoft/r/VGtedxhHRb

地域デザインコース

課題①「コミュニティデザイン」への理解を深める	
課題内容	「コミュニティデザイン（学芸出版社：山崎亮 著）」「コミュニティデザインの時代（中公新書：山崎亮 著）」の２冊の書籍を読み『コミュニティデザインとは何か』を自分なりに整理してください。その後、自分で自由に選んだ１名以上（同級生やご家族を含む）に『コミュニティデザインとは何か』を説明し、感想を聞いた上で、1200～2000字で自分の考えをまとめてください。提出する様式は自由ですが、手書きではなくPCで入力したものを印刷し、提出してください。
課題のねらい、ポイント	コミュニティデザイナーとして大切な以下の力を鍛えることを意識して取り組んでください。 ・本を読み、理解する「読解力」 ・情報を整理して相手に「伝える力」 ・相手の意見を「聞く力」 取り組む際には以下の点に注意してください。 ・この２冊の本は、大学に入学してからも教科書として何度も読むことになりますので購入してください。重要だと思う部分には線を引いたり、メモを書き込んだりして読み込んでください。 ・相手に伝える際には、事前に話す内容を整理して、相手が理解しやすいように論理的に話す努力をしてください。 ・相手の感想を聞く際は、相手とコミュニケーションをとりながら深い感想を引き出すように聞く努力をしてください（少なくとも30分程度はコミュニケーションをとること） ・自分の考えを文章にまとめる際には、書きたい内容を明確にした上で、論理的にまとめる努力をしてください。また、何度も読み直して推敲し、正しい日本語で表現してください。
アドミッションポリシーとの関連事項	・芸術やデザインに興味と熱意を持つ人 →「コミュニティデザイン」という抽象性の高いコンセプトに向き合い、言語化することは、すべての学びの基盤になります。 ・高等学校までの学習および経験により培われた基本的な知識を持ち、主体的に学修できる人 →指定図書を読解し、要約し、他者に伝え、相手の反応をさらに文章化する力は、インプット（知識や情報を得ること）とアウトプット（まとめ、表現）を中心とする学科での学びの土台となります。
提出の仕方、期限	2月スクーリング時に持参してください。

課題② 事例収集ノートづくり	
課題内容	地域の困っていることを「解決している・解決しそうな」事例を、新聞、Web、書籍（雑誌含む）、テレビの４つのメディアから１日１つのメディアを選び、週４日、継続してノートにまとめてください。 例）火曜→新聞、水曜→Web、木曜→書籍、金曜→テレビ
課題のねらい、ポイント	コミュニティデザインで魅力的なプロジェクトを生み出すためには多くの事例を収集し、頭に入れておくことが大切です。事例集として今後も参照しやすいように、まとめる際は、事例の名前、地域の特徴、内容、事例の目的、引用元など、ポイントに分けて見やすく書くことに留意してください。
アドミッションポリシーとの関連事項	・高等学校までの学習および経験により培われた基本的な知識を持ち、主体的に学修できる人 →様々な表現のメディアを理解し、自分の言葉で要約する力は、インプット（知識や情報を得る）とアウトプット（まとめる、表現する）を中心とする学科での学びの土台となります。 ・社会に興味を持ち、仲間とともに切磋琢磨して成長できる人 →社会の動向に意識をはらい、主体的にどう解決できるかを常に考えることは、地域/社会課題解決を柱とする学科の学びの土台となります。
提出の仕方、期限	各自課題を進めて２月のスクーリングにノートを持参してください。

食文化デザインコース

課題① 指定図書の読解	
課題内容	食文化の知識と理解を深めるための書籍を選定しました。 以下の書籍の中から3冊を選び、読んで分析し、レポートを3つ提出してください。 【条件】 ・800字以上 ・wordまたはPDFファイルで提出（手書き不可） 【書籍】 1.「縁食論」藤原辰史 2.「［自然農法］わら一本の革命〈新装版〉」福岡正信 3.「食とたねの未来をつむぐ」ヴァンダナ・シヴァ 4.「地方再生のレシピ」奥田政行 5.「フードスタディーズ・ガイドブック」安井大輔編 6.「人間は料理をする　上・下」マイケル・ポーラン 7.「ひかりごけ」武田泰淳 8.「野火」大岡昇平 9.「採集」赤羽正春 10.「パテ屋の店先から」林のり子 11.「ブナ林をはぐくむ菌類」金子繁・佐橋憲生 12.「食べる」アネマリー・モル 13.「発酵の技法」サンダー・E・カッツ 14.「メタファーとしての発酵」サンダー・E・カッツ 15.「食べることの哲学」檜垣立哉 16.「美味しい料理の哲学」廣瀬純 17.「決定版　ナチスのキッチン」藤原辰史 18.「料理の日本史」五味文彦 19.「家庭料理という戦場」久保明教 20.「ハーバード 料理と科学の教室」マイケル・ブレナー他 21.「食の現代社会論」伏木亨編 22.「食権力の現代史」藤原辰史 23.「殺された女神」アドルフ・E・イェンゼン 24.「タネの未来」小林宙 25.「食の歴史」ジャック・アタリ 26.「スローフード宣言―食べることは生きること」アリス・ウォータース 27.「土と内臓―微生物がつくる世界」デイビッド・モントゴメリー 28.「内臓とこころ」三木成夫 29.「発酵文化人類学」小倉ヒラク 30.「世界の食卓から世界が見える」岡根谷実里
課題のねらい、 ポイント	【課題のねらい】 これから大学で学ぶ食文化の知識をつけることを目的とします。 批評的な視点を持って書籍を読んで分析してください。 食文化のリテラシーを身につけることがこの課題のねらいです。 【ポイント】 ・気になった点を例に独自の見解を記してください。 ・単なる感想にならないようにいくつかのポイントを挙げ、それに関する記述をしてください。

アドミッションポリシーとの関連事項	芸術やデザインに興味と熱意を持つ人
提出の仕方、期限	2月のスクーリングの際に提出してください。

課題② “食の体験”記録	
課題内容	あなたの“食の体験”をスマートフォンで撮影してください。 【条件】 ・写真だけではなく動画に適したものがあれば動画でも撮影を行なってください。 ・構図や光を意識して、美しく撮ることを心がけてください。 ・最低1日1枚（または1動画）撮影することを心がけてください。
課題のねらい、ポイント	【課題のねらい】 ・食文化に関するあなたのセンスと眼を養うと共に、コミュニケーションツールを活用する術を身につけていただきます。 【ポイント】 例えば、 ・毎日の食日記 ・日々の暮らしで見つけた美味しそうな料理やスイーツ ・素敵なお店 ・地域の食、農、生産者の活動 など、あなたが出会った食文化を記録し、アーカイブすることを目的とします。
アドミッションポリシーとの関連事項	・芸術やデザインに興味と熱意を持つ人 ・高等学校までの学習および経験により培われた基本的な知識を持ち、主体的に学修できる人
提出の仕方、期限	2月のスクーリングの際にプレビューと講評を行います。 【提出の仕方】 1.撮影した写真と動画から合計30枚セレクトする。 ＊動画と合わせて30データになるようにしてください。（30枚以上でも可） 2.PCにフォルダーを作成しコピーを行う。 3.フォルダーをUSBにコピーし、スクーリングの際に持参し提出してもらいます。